

農地防災ダムについて(阿久根市 高松ダム)

ダムについて

○利水ダム

工業用水、農業用水の確保、発電等を目的とするダムです。

治水が目的でないため、洪水時に流水を調節することはありません。

○治水ダム

洪水調節と渇水時の既得用水の補給や河川環境の保全のための流量確保を目的としています。

【高松ダムの概要】

高松川は、梅雨期や台風期には度々氾濫を起こし、堤防の決壊、井堰、橋の流失や田畑の流失や湛水などの被害を与えていた。

これらの被害を解消するため、昭和39年から5年かけて建設したコンクリートダムである。

堤高:37m

堤長:60m

有効貯水容量

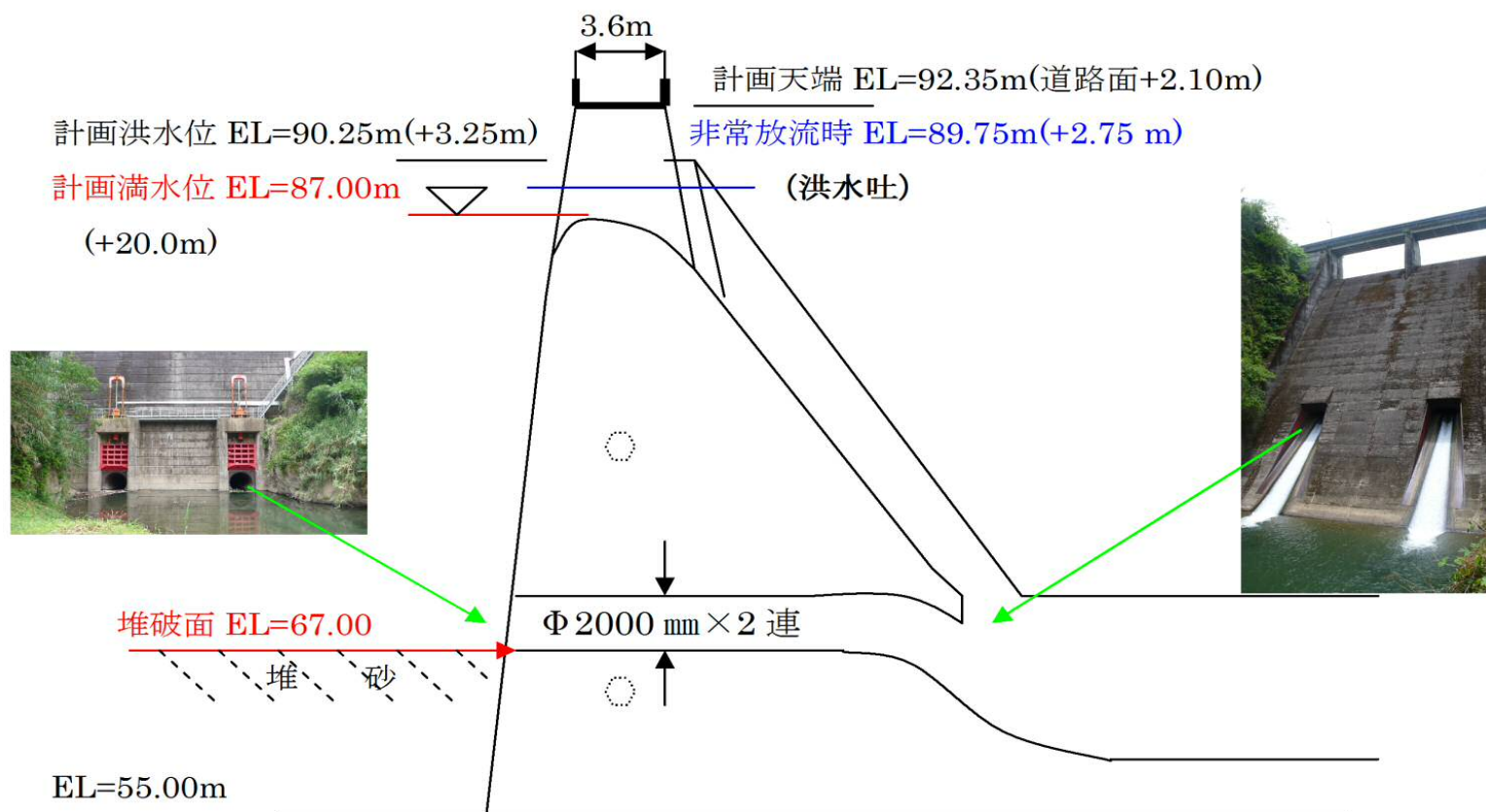
1,126,000m³

【位置図】



ダムの状況

【ダム標準断面図 (模式図)】



ダムの越流状況 北薩豪雨 平成18年7月22日(日雨量 509mm)

警報が発令された時には、ダム管理棟にて、下流の河川水位を見ながら、ゲート操作を行い洪水調整を行う。
平成18年には緊急放流を実施した。

ハザードマップについて(阿久根市高松ダム)

東日本大震災により福島県では、農業用に使用していたダム湖の堤防が決壊し、死者を出す被害が発生しました。これを踏まえ、万が一ダムが決壊した場合にどの程度浸水するかを解析を行い、緊急時の避難行動の目安とするため、ハザードマップを作成しました。

